

市議会だより

Vol.210

今回の主な内容

- 市政を問う一般質問…………… 2
- 決算特別委員会審査…………… 4
- 常任委員会・決算特別委員会
分科会審査…………… 5
- 議案等の審議結果…………… 6
- 各種検討会…………… 7
- 調査特別委員会の名称変更など… 8



9月定例会議を開きました<9月1日~9月21日(21日間)>

9月1日 開会

本 会 議

市長から議案22件、報告7件を提出後、提案理由を説明

9月7日~9日

本会議(一般質問)

13人の議員が登壇、議案や市政の諸課題に関して質疑、応答

2~4ページ

9月10日~13日

常 任 委 員 会

議案や請願を審査

9月9日・14~16日

決 算 特 別 委 員 会

令和2年度の決算を審査

4~5ページ

9月21日 閉会

本 会 議 ・ 委 員 会

各委員長から審査の経過と結果の報告、討論、採決

追加議案の審議、常任委員会審査、採決

6ページ

議会トピックス

★ 9月定例会議最終日に

新型コロナウイルス感染症対策の追加議案
を審議、可決

- ・ PCR検査事業費 2.6億円
- ・ 新型コロナ医療費 9000万円
- ・ ひとり親家庭等エールクーポン事業 3700万円



新型コロナウイルス感染症に関する**ワクチン**や**支援**などの情報はこちらからご覧ください

令和3年秋季

議会報告会・意見交換会を開催

します

★11/2(火) 14時~15時

吉井田学習センター 1階ホール

※上履きをお持ちください

★11/2(火) 18時~19時

もちずり学習センター 2階ホール

★11/3(水・祝日) 14時~15時

松川支所 2階大会議室

★11/4(木) 18時~19時

北信学習センター 多目的ホール

※上履きをお持ちください

● 事前申し込み不要。ご都合のよい会場へ、ぜひお気軽にご参加ください。

● **新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる場合があります。**

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください
ただくか、議会事務局(024-525-3776)までお問い合わせください。



★タイトル写真★

UFOふれあい館 施設内展示

飯野町のUFOふれあい館では、UFOに関する資料の展示や3Dシアター、展望風呂、パノラマ食堂なども楽しめます。

詳しくは、こちらからご覧ください。



市政を問う

一般質問Q&A

市民の皆さまの生活にかかわる身近な市政の課題に関する質問を行います。



くらし・安全



緊急電話相談
救急安心センター

(#7119) (注1)

後藤 善次

Q 救急安心センター事業を導入すべきでは。

A 昨年12月に、福島県の主催で総務省消防庁の職員を招き、県と県内12消防本部職員で#7119導入に向けた勉強会が開催された。代表消防本部として、県と県内11消防本部に対して、導入に向け積極的に働きかける。



(注1)救急安心センター事業「#7119」は急な病気やけがをした時に、救急車を呼んだほうがいいか、今すぐ病院に行ったほうがいいかなど、迷った際の相談窓口として、専門家から電話でアドバイスを受けることができる。



消費者被害防止対策

羽田 房男

Q オレオレ詐欺や還付金詐欺が後を絶たないが消費生活センターが取り組んできた対策は。

A 出前講座や学習会、悪質電話撃退装置の貸し出し、1人暮らし高齢者世帯への訪問による注意喚起、消費者啓発ボランティア設置などの対策、各種媒体を活用した情報提供、注意喚起を行っている。

今年度は、被害防止に効果の高い悪質電話撃退装置の貸出事業を購入費補助事業に切り替えるとともに、福島市消費者の安全を守る地域協議会を設置し、地域で高齢者を見守る地域包括支援センターや警察署のほか、高齢者関連部局と情報を共有し連携強化を図った。



交通事故対策

石原 洋三郎

Q 複数回の事故が発生している場所は対策・改善がなされたのか。

A 事故の多発地点や死亡事故などの重大な事故が発生した場所については、警察や国・県・市の道

路管理者や地元代表者などと現場点検を行い、事故原因を追究し、注意喚起看板の設置や交差点のカラー化、外側線の引き直し、防護柵の設置などの道路安全施設の改善を行っている。

複数回の事故が発生している箇所については、原因分析などを行い、特に対策を要する地点を道路管理者、警察、地元団体などで協議、個所付けをし、対策を行っていく。



水需要喚起のための

取り組み
白川 敏明

Q 若い世代、特に小中学生に対して水道に関心を深めてもらうための取り組みは。

A 三河台小学校の児童たちと共に、JR福島駅西口に整備したももりん水飲み器の製作時のデザイン協力からオープニングセレモニーや今年7月に商標登録したももりんウォーターの愛称決定まで、連携してふくしまの水のおいしさを発信してきた。

今年度は、JR福島駅東口にも新たに「ももりんウォーター」の整備を計画しており、近隣小学校の児童たちと一緒に新たな発信の創出に繋げるほか、例年実施している水道ポス

ターコンクールに応募いただいた小学生などに呼びかけ、ふくしまの水広報サポーターとして、ももりんウォータークラスを新たに立ち上げ、感性豊かな子どもたちに、おいしいふくしまの水の広報を担当してもらい、子どもたちを通じて多くの世代に伝えていく。



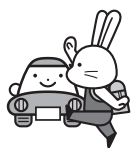
通学路の安全対策

萩原 太郎

Q 通学路等安全対策事業の概要とその整備状況は。

A 関係機関と連携し市立小学校および特別支援学校の52校を対象に緊急合同点検を実施し、平成24年度から平成29年度までに、245力所の安全対策を実施した。

平成26年度に、今後の通学路における交通安全の確保について継続的な取り組みを進めるため、福島市通学路交通安全プログラムを策定し、平成27年度より市立小学校および特別支援学校を対象に、合同点検を実施し、令和2年度までに196力所の危険箇所を抽出し、令和2年度末で162力所の安全対策を実施した。



産業・経済



コロナ禍の影響がある

事業者への支援

村山 国子

Q 度重なる自粛により事業者は窮地に立たされている。市独自の協力金などの支援が必要では。

A 本市独自に、飲食店営業継続支援事業や事業者営業継続支援事業、事業者営業継続緊急支援事業を実施し、事業者を支援してきた。

また、新型コロナウイルス関連の緊急経済対策資金融資制度を利用した事業者に対し、信用保証料補助や利子補給を行い経営基盤の安定化を図るとともに、これまで2回実施したエールクーポン事業により、地域経済の回復と市民生活の支援を図った。

今後も、国、県の支援をふまえ必要に応じて本市独自の支援を講じていく。



福祉・健康



定期頻回

PCR検査の徹底

佐々木 優

Q クラスターが発生してからではなく、定期頻回PCR検査を徹底し感染拡大させない対策が必要では。

A 感染拡大状況に応じて、東京2020オリンピックピック大会関係者と接触のあった方、接待を伴う飲食店を利用された方や従業員の方、帰省などの移動に伴い不安を抱える方などリスクの高い方々に対して広く無料でPCR検査を実施してきた。

また、クラスターが生じた場合に社会的影響が大きく、医療提供体制への負荷が増大する高齢者・障がい者の施設などに従事する職員と、接客を伴う飲食店の従業員などに対し施設ごとの検査や相談窓口を通じた検査を実施してきた。

今後も流行状況に合わせ必要な対象者にPCR検査を実施する。



ワクチン接種

予約システムの改善

根本 雅昭

Q 予約システムへのアクセス集中に備えるため、CDN(注2)を利用した事例がある。本市予約システムの今後の改善策は。

A Web予約システムについて、これまで、サーバーの増強やアクセス数の制御対応など随時対応してきたが、さらなる改善を図るため、

提案のシステム構築も含め検討し、随時改善に努める。



(注2) CDN (Content Delivery Network) コンテンツ配信ネットワーク。複数の代替サーバーから画像や動画などのWebコンテンツを配信する仕組み。Webサーバーへのアクセスを代理するため、アクセスが集中する場合でも負荷を軽減できる。

ひきこもりの方

社会参画支援

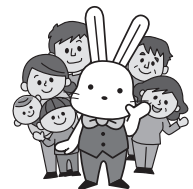
二階堂 利枝

Q 包括的支援体制整備事業の課題と今後の取り組みは。

A 本事業で対象にしているひきこもりの状態の方などは、各福祉分野の狭間にあり、社会との繋がりが希薄で自ら相談しない場合が多く、地域に潜在化していることからいかにして必要な支援を実施し、継続していくかが課題である。

このため、地域包括支援センターの日頃の活動の中からひきこもりの状態にある方を把握し、訪問活動などにより信頼関係を形成しながら、必要な支援を実施するアウトリーチ事業や、既存の就労事業になじまない方には、専門機関が本人の意思を

尊重しながら、徐々に地域との繋がりをつくる参加支援事業などを行う。



生活保護の

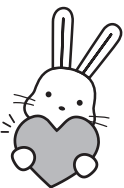
地域の級地見直し

小熊 省三

Q 生活保護の地域の級地見直しに伴う市民への影響は。

A 生活保護の級地区分は、地域における生活水準の差を生活保護基準に反映させる制度であり、現在、本市は6階層に区分された中の3番目の2級地の1に区分されている。

仮に、級地区分の見直しにより生活保護基準が減額となった場合、就学援助や医療保険などの負担限度額区分などへの影響が考えられる。国は級地区分の見直しと与える影響の大きさも考慮した上で、市町村の個別事情などを十分に勘案して検討を行う必要があるとしており、今後の動向を注視していく。





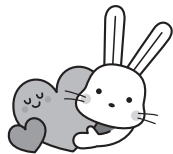
医療的ケア児の支援

丹治 誠

Q 令和3年9月18日施行の医療的ケア児支援法により、今後取り組まなくてはならない事業は。

A 本市の障がい児支援サービスは、医療的ケア児の受け入れ可能な事業所に限りがあることから、関係する法人や事業所に対して、医療的ケア児の支援に対応した報酬や加算制度などの理解促進を図り、さらなる拡充に努める。

また、本市が設置する幼児教育・保育施設ならびに私立認可保育施設は、現在、医療的ケア児を受け入れる体制が整備されていない状況にあるため、十分な安全性の確保が必要なことを勘案し、法に規定する医療的ケア児の保育を行う体制整備に向けた検討を進める。



教育・文化



ワクチン接種に関する差別・偏見防止策

佐原 真紀

Q さまざまな事情によりワクチン接種を控える児童、生徒に対する差別・偏見防止策は。

A 身体的な理由、さまざまな理由によって接種できない人や接種を望まない人がいること、その判断は尊重されるべきであることを児童生徒に指導するよう各学校に通知した。児童生徒が、ワクチン接種のため欠席や遅刻・早退をする場合や副作用などで欠席する場合は、担任などからその理由が他の児童生徒に漏れることがないように、十分に配慮するよう各校に指導している。



小中学校オンライン授業の評価と今後の実施計画

鈴木 正実

Q タブレットによるオンライン授業の評価と今後の実施計画は。

A 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、緊急時に子どもたちの学びを止めないためには有効であったと評価しているが、突発的な通信機器の不具合などの課題も明らかとなった。今後は成果と課題を整理し、すべての学校でオンライン授業の試験的導入を進めていく計画である。9月12日までに44校において試験的導入が完了する見込みであり、その後、全市一斉のオンライン授業の日を設定し、接続状況の確認など、委託業者やICT支援員などと連携しながら今後の緊急時に備えるべく準備を進める。



決算特別委員会 ～令和2年度の決算を審査～

議長および監査委員2名を除く32名の議員で構成する決算特別委員会を設置し、4つの常任委員会(総務、文教福祉、経済民生、建設水道)と複合市民施設に関する調査特別委員会(8ページ参照)を単位とする各分科会において、令和2年度の決算を審査しました。

決算審査の流れ

《本会議》

- ① 決算特別委員会を設置
- ⑪ 質疑・討論
- ⑫ 議案採決

- ② 議案付託
- ⑩ 委員会審査報告(委員長報告)

《決算特別委員会》

- ③ 正副委員長互選
- ④ 分科会を設置
- ⑦ 総括質疑 ※下記参照
- ⑨ 質疑・討論

- ⑤ 議案付託
- ⑧ 分科会審査報告(分科会長報告)

《各分科会》

- ⑥ 所管する決算を審査
- ※主な審査内容は5ページへ

総括質疑の主な内容

Q : 飯坂、土湯、高湯の温泉地ごとの入湯税は、令和元年度と比べてどのくらい減少したのか。

A : 飯坂温泉が52.1%減、土湯温泉が47.9%減、高湯温泉が23.3%減となった。

常任委員会・決算特別委員会分科会

※各常任委員会および各分科会に付託された議案審査ならびに決算審査の主な内容を紹介します。

総務

◆議案審査

財産取得（水槽付消防ポンプ自動車）

福島南消防署信夫分署の水槽付消防ポンプ自動車を更新する。

新たな車両には圧縮空気消火装置を装備しており、水と比べて約5倍の冷却効果があるとともに、消火に必要となる水の量が節約でき、水損防止、消火作業に係る負担の軽減にも効果がある。



福島南消防署配備の水槽付消防ポンプ自動車

◆決算審査

ふるさと納税

応援メニューの見直しを行うとともに、オンライン帰省動画の配信を行うなど郷愁を誘う取り組みのほか、話題性のある企画を打ち出すことにより全国へ向けたPRを強化し、令和2年度は約27,000件、8億1,800万円余りの寄附をいただいた。

文教福祉

◆議案審査

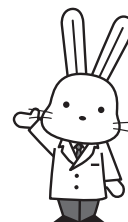
福島市立学校条例の一部改正

福島市立小学校・中学校の適正規模・適正配置に係る基本方針ならびに第1次実施計画に基づき、地域からの同意書の提出を得て東湯野小学校を閉校し、湯野小学校に統合する。同様に立子山中学校を閉校し、渡利中学校に統合する。

◆決算審査

PCR検査事業費

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、新型コロナウイルス感染症PCR検査などを実施し、感染症の予防およびまん延防止に努めた。



- PCR検査等実施数 28,761件
(うち 衛生課検査室PCR検査実施数 3,973件)
- 相談件数 受診・相談センター 延べ 7,407件
一般相談センター 延べ 10,185件

経済民生

◆議案審査

財産取得（中央市民プールロッカー）

令和4年度に全面リニューアルオープンを予定している中央市民プールで、場内4カ所の更衣室の改修も行っており、各更衣室のロッカーを更新するため、プラスチック製ロッカーを166台（1,328人分）購入する。

ロッカーは、開錠時に硬貨が戻るコインリターン式で、キーバンドなどの附属品を含めて購入する。

◆決算審査

体育施設費

十六沼公園サッカー場において、人工芝コート2面の張り替え工事などを実施した。

また、令和元年10月に供用開始した天然芝サッカー場は、福島ユナイテッドFCの練習に使用したほか、令和2年度の一般の利用は6,989人であった。



建設水道

◆議案審査

通学路緊急安全対策事業費

千葉県八街市の小学校通学路での重大事故を受け、特に危険性がある個所について緊急に安全対策を実施し、児童が安全に通学できる環境づくりを推進する。

幹線道路の抜け道になっている道路など車の速度が上がりやすい4カ所で交差点や路肩のカラー舗装化を行う。



交差点のカラー舗装化

◆決算審査

ごみ減量化促進対策事業費

ごみ減量化・資源化に向け、市民・事業者への意識啓発に取り組むとともに、雑がみ収集事業についての広報などを実施した。

また、集団資源回収を実施する市民団体および協力する回収業者に対し、報奨金・助成金を交付して資源回収活動を奨励し、資源の再利用を図った。

～議案等の審議結果～

結果欄：○→原案可決、同意、認定、採択
×→原案否決、不同意、不認定、不採択

9月定例会議

[市長提出議案 / 27件]



各議案の概要や資料は
こちらからご覧ください。



区分	件名	結果
補正予算案	福島市一般会計（第6号、第7号）、福島市下水道事業会計、介護保険事業費特別会計	○
令和2年度決算案件	福島市各会計歳入歳出決算認定、福島市水道事業会計決算認定及び剰余金処分、福島市下水道事業会計決算認定及び剰余金処分、福島市農業集落排水事業会計決算認定	○
条例制定案	福島市条例を左横書きに改める条例 福島復興再生特別措置法に基づく特定事業活動における固定資産税の課税免除に関する条例	○
条例改正案	福島市個人情報保護条例 福島市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例 福島市手数料条例 福島市立学校条例 福島市地区体育館条例	○
条例廃止案	福島市復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例	○
人事案件	公平委員会委員選任（成田威文氏） 固定資産評価審査委員会委員選任（渡辺光則氏） 財産区管理委員選任（土湯温泉町財産区 松本幹夫氏） 人権擁護委員候補者推薦（清野美佐子氏、真壁加代子氏、安達あけみ氏）	○
その他	市道路線の認定及び廃止 工事請負契約（瀬上小学校屋内運動場改築事業 屋内運動場建築工事） 工事請負契約（三河台学習センター建築工事（建築本体）） 工事請負契約の一部変更（令和2年度地域振興施設「道の駅」整備事業本体建築工事） 工事請負契約の一部変更（令和2年度地域振興施設「道の駅」整備事業本体電気設備工事） 財産取得（中央市民プールロッカー） 財産取得（水槽付消防ポンプ自動車）	○

[委員会、議員提出議案 / 2件]

区分	件名	結果
意見書案	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書 新型コロナウイルス感染症に対する医療提供体制の強化及び影響を受けている事業者へのさらなる支援等を求める意見書	○

[請願 / 1件]

区分	件名	結果
請願	新型コロナ禍による米危機の改善を求める意見書提出方について	×

市政概要を市議会ホームページに掲載中！

議会事務局では、議員の議会活動に利用するため、福島市の市政全般にわたる情報をまとめた「市政概要」を毎年作成しています。

福島市の沿革や市域の変遷、子育て推進事業から水道事業まで市民の皆様の生活に関わるさまざまな事業の取り組みや実績などを体系的に掲載しています。

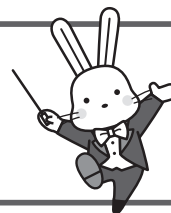
市民の皆様にもご覧いただけるよう、市議会ホームページに掲載していますので、ぜひご利用ください。



こちらからご覧ください。



議案の審査や議会の運営に関して協議や調整を行うために
各種検討会を設置しています。
名称、目的、新たな構成員をお知らせします。



議会改革検討会

議会基本条例の施行状況を確認、検討するとともに、議会改革の推進に継続的に取り組みます。

座長

黒沢 仁 (副議長 真政会)

副座長

石原洋三郎 (市民21)

委員

大平 洋人 (真政会)

鈴木 正実 (真結の会)

小野 京子 (公明党)

山田 裕 (日本共産党)

羽田 房男 (耀ふくしま)



議会基本条例の施行状況はこちらから

政務活動費検討会

議員の調査研究その他活動に資するため必要な経費の一部として交付される政務活動費のあり方や諸課題について検討を行います。

座長

黒沢 仁 (副議長 真政会)

副座長

斎藤 正臣 (真結の会)

委員

二階堂利枝 (真政会)

石原洋三郎 (市民21)

丹治 誠 (公明党)

小熊 省三 (日本共産党)

梅津 一匡 (耀ふくしま)



政務活動費についてははこちらから

広報委員会

議会活動の情報をわかりやすく、積極的にお知らせするため、市議会だよりや市議会ホームページなど議会広報の充実に取り組みます。

委員長

黒沢 仁 (副議長 真政会)

副委員長

沢井 和宏 (耀ふくしま)

委員

石山 波恵 (真政会)

川又 康彦 (真結の会)

佐原 真紀 (市民21)

高木 直人 (公明党)

村山 国子 (日本共産党)



市議会の広報はこちらから

ICT活用検討会

議会のタブレット端末の導入に伴い、その活用およびペーパーレス化、議会のICT化の推進に関して検討を行います。

座長

黒沢 仁 (副議長 真政会)

副座長

根本 雅昭 (真結の会)

委員

小松 良行 (真政会)

佐原 真紀 (市民21)

高木 直人 (公明党)

佐々木 優 (日本共産党)

梅津 一匡 (耀ふくしま)



新庁舎西棟建設調査特別委員会は 「複合市民施設に関する調査特別委員会」に名称等が変わりました

令和3年6月定例会議で承認した新庁舎西棟建設調査特別委員会の委員長報告に基づき、風格ある県都を目指すまちづくり構想における複合市民施設としての（仮称）市民センターの建設整備、管理運営手法にかかる調査を行うため、特別委員会の名称等を変更し委員を選任しました。

委員構成

- ◎委員長 丹治 誠（公明党）
- 副委員長 沢井 和宏（耀ふくしま）
- 委員 根本 雅昭（真結の会）
- 齋藤 正臣（真結の会）
- 佐原 真紀（市民21）
- 二階堂利枝（真政会）
- 鈴木 正実（真結の会）
- 梅津 政則（市民21）
- 白川 敏明（真政会）
- 村山 国子（日本共産党）
- 半沢 正典（真政会）

調査事項

- ・持続可能な（仮称）市民センターに関する調査
- ・（仮称）市民センターの建設整備に関する調査
- ・（仮称）市民センターの管理運営手法に関する調査
- ・所管する議案審査

調査特別委員会の活動状況は
こちらからご覧ください



（仮称）市民センター



（イメージ図）

★ 12月定例会議の日程について

12月定例会議は、11月21日(日)に福島市長選挙が行われるため、日程が未定です。

会議の日程は決定次第、市議会ホームページなどでお知らせします。

なお、12月定例会議で審議する請願・陳情の締め切りは12月2日(木)午前11時です。

★ 会派の代表者が変わりました

【真政会】新：白川 敏明 議員
旧：半沢 正典 議員

★ 所属会派が変わりました

【真田 広志 議長】新：無所属
旧：真結の会

◆市議会広報に関するご意見をお寄せください。

〒960-8601 福島市五老内町3番1号

電話 024-525-3776 FAX 024-534-2520 福島市議会 広報委員会あて

◆市議会ホームページをご覧ください。

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>

発行：福島市議会 編集：広報委員会

市議会のHPはこちらから
ご覧ください。

